

東北大学附属図書館報

木這子



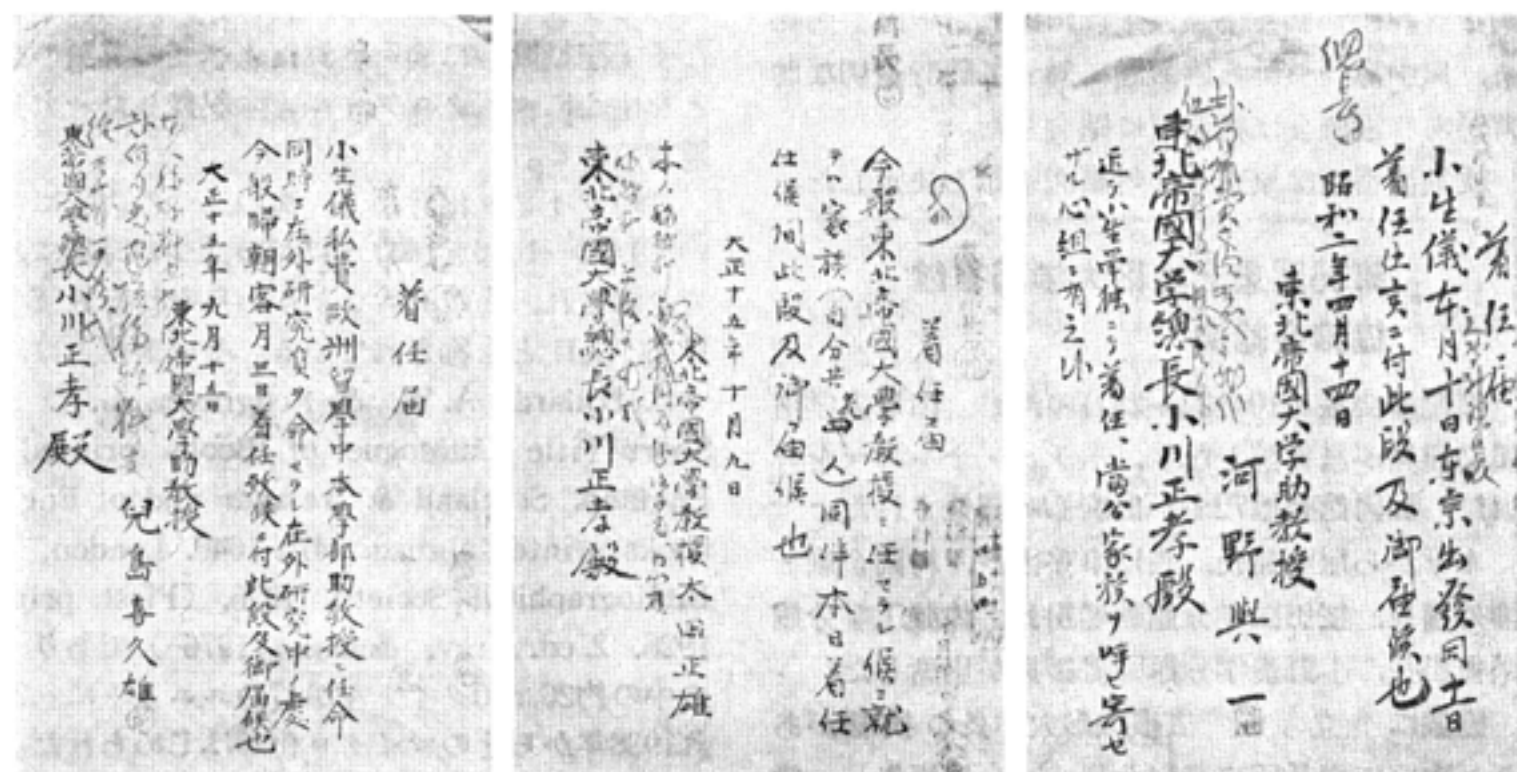
BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

助手), 木村有香(理・助教授), 富永 齊(工・助教授), 高橋進太郎(法文・助手)。昭和3年に池田謙三(工・教授), 益田峰一(工・助教授)。4年に棚沢泰(工・講師), 久保 勉(法文・助教授)といった具合である。

着任にともなう一種の緊張感の故か, 文章はかなり自由に書かれて紋切型でないが, 共通して立派な筆蹟でできあがっている。ここにはその中から3人の方々の例を掲げよう。児島喜久雄は西洋美術史の第一人者で, 安井・梅原を世に出した人。太田正雄とは詩人木下杢太郎その人である。この二人は在学約10年で東京帝大に移った。河野興一は西洋哲学・古典学の碩学として高名。戦後東京に移られ, 今もますます御健在である。



第55次国立七大学附属図書館協議会 及び第14回同部課長会議

標記協議会が去る9月29～30日の両日, 本学が当番となり民衆会館を会場に開催され, 文部省からは田保橋情報図書館課長, 田中専門員, 須田事務官が出席された。

今次協議会の中心議題は, 学術情報センターシステムに関連したもので, 七大学のとるべき対応について活発な意見交換が行なわれた。

29日の部課長会議では北海道大学の矢部事務部長が議長となり, (1)第5次定員削減に伴う各大学の対応の仕方, (2)学術情報センターシステムに対応しうる事務機構の整備, (3)図書館職員の人事異動・人事管理上の諸問題, (4)各大学に所蔵される貴重文庫・集書の目録刊行費の予算措置, (5)各大学でその取扱いが異なる掲載・出版・翻刻・復刻出版の出版料徴収の統一基準について, と国立大学図書館が今日抱える事務執行上の諸問題につい

て活発な討議が行なわれた。

続く協議会では本学服藤附属図書館長が議長となり次の議題について協議が行なわれた。

1. 学術情報センターシステムにおける地区センター館の役割, 対応について
2. 国立大学図書館間相互利用の対応措置について
3. 大規模大学における附属図書館の概念の明確化—機構の整備について
4. 中央図書館のいわゆる「保存図書館機能」の改善について
5. 職員の研修について
6. 外国から送付の学位論文の整理, 保存利用について

特に学術情報センターシステムについては, 地区サブセンターの役割を担うであろう七大学附属図書館が現在如何にこのシステムに対応すべく取り組んでいるかの発表と, 目録所在情報形成のため書誌情報の標準化問題, この協議会と地区サブセ

ンターとなる大学図書館とのかかわりについて、活発な意見と討議が行なわれた。

また中央図書館における「保存図書館機能」の改善については、本学で開催される七大学学長会議においても同趣旨の協議が行なわれるもので、本協議会でも収集すべき資料の範囲、保存利用上の諸問題、地区毎に集中して管理する体勢、保存施設の確保について協議した。

2 日間にわたる協議会中は田保橋情報図書館課長、田中専門員から協議題に対して随時適切な助言があり協議会は盛会裡に閉会した。

次期当番館は東京大学附属図書館と決定した。

第36回東北地区大学図書館 協議会総会

標記の会議が10月22～23日の両日、山形大学附属図書館が当番館となり、ホテル・オースマを会場に、加盟館45館72名が出席して開催された。

本学から服藤館長、長尾事務部長、村岡企画・渉外掛長、桜田医学分館整理掛長、佐藤工学分館図書掛長、小野農学分館図書掛長が出席した。

協議に先立って、広根山形大学長の挨拶があり、次いで議長団の選出を行い、会務報告、一般報告、昭和55年度決算報告、監査報告の後協議に入った。

3 館の新規加盟が承認され、聖霊女子短期大学、盛岡大学、日本大学工学部の図書館が協議会に加わった。

昭和56年度予算案について審議、原案通り承認された。次いで元弘前大学附属図書館職員鈴木トミエ氏の表彰は満場一致で議決された。次期総会の開催は宮城地区宮城学院女子大学が推薦され、承認された。

懸案事項であった表彰規程により授与する表彰状の様式の制定及び協議会運営の円滑をはかるための会則第6条の改正案について審議した結果、原案通り採択された。

第6条の改正によって、昭和56年度から、常任幹事館、若干の幹事館で当協議会の運営にあたることとなった。終りに役員の改選が行われ、常任幹事館、幹事館4館、監査館2館、学術奨励審査館6館を選出した。なお審査館の任期が2年に改正された。

資料紹介 9

Early English Books, 1475-1700 Ann Arbor, Mich., University Microfilms International, 1938- 35mm microfilm (positive)

「英国古書集成」の名でも知られるもので、1475—1700年の間に英国をはじめ、ウェールズ、スコットランド及びアイルランドなどで印刷されたあらゆる言語の図書と、刊行された国には関係なく上記期間中に刊行されたすべての英語の図書とを中心にマイクロフィルムに収録した一大文献叢書である。

このマイクロ化計画は、次の二つの書誌に基づいて1475—1640と1641—1700の二つの時期にわけて企画され、そのイニシャルからそれぞれ STC-I, STC-II とも称されている。その書誌とは、一つは Pollard, A.W. & Redgrave, G.R. : A Short-Title Catalogue of Books printed in England, Scotland & Ireland, and of English books printed abroad, 1475-1640. London, The Bibliographical Society, 1956. (First print : 1926. 2. ed., rev. & enl., 1976-) であり、この中の約26,500タイトルが47のユニットにわけられ1938年からそのマイクロ化がはじめられた。もう一つの書誌は Wing, Donald : Short-Title Catalogue of Books printed in England, Scotland, Ireland, Wales, and British America and of English books printed in other countries, 1641-1700. Index Society, 1945. (2. ed., rev. & enl., 1972-) 3 vols. で、これは全体を61のユニットにわけて、1990年の完成を目指して目下計画が進められている。

この二つの書誌は、ともにあらゆる学問分野を含む英国古書の総索引であるが、その収録図書は現存するものに限られ、たとえ出版されたことが明確でも、現在どこかの図書館か文庫に所蔵されていない限り収録されていない^{注1)}。また、例えば個々の記述に与えられた番号 (STC no. 及び Wing no. といわれる) の付け方にちがいがあ^{注2)} るとか、その図書の所蔵館名の略語表示にちがいがあ^{注3)} るなど、細部に多少の差異がある点を除けばほぼ共通の記述形式をとっている。標目は British Museum のルールに従って選ばれており、個々の図書に関する記述はその著者名など標目のアルファベット順に配列してある。以下、簡略書名 (brief title)、大きさ、出版事項とつづき、

記述の最後に所蔵館名が略記してある。(図1参照) 個々の記述には、先頭に STC no. 又は Wing no. が与えられているほか、Aesop や Bible など多くの版が存在する場合には、その刊行年順に配列してあるなど共通性を有している。

標記マイクロフィルムの利用は、これら二つの書誌を介して行なうことになる。まず、利用したい図書をその刊年によって上記いずれかの書誌にあたり検索する。そして見出した記述に与えられている STC 又は Wing の番号を手がかりに、別の Cross index にあたることになる。Cross index は STC-I, STC-II によって次の二種がある。Early English Books, 1475-1640: Selected from Pollard and Redgrave's *Short-Title Catalogue*. Cross index to Reels 1-1536. と Early English Books, 1641-1700: Selected from Donald Wing's *SHORT-TITLE CATALOGUE*. A Cross index to units 1-37 of the microfilm collection, Reels 1-995. である。(現在のところここまでの Cross index しか入手していない。) これらはいずれもすでにマイクロ化された図書について、STC no. 又は Wing no. でその図書が収録されているリールの番号がわかる仕組になっている。(図2参照) 一巻のフィルムには数冊から多いもので数十冊の図書が収録されており、たとえリール番号がわかっても見たい図書がその何番目に収録されているかわからない。これを予め調べるには、フィルムについてくる Partial list というガイドブックを参照する。これには各巻ごとにそこに収められている図書に関する記述がフィルムに収録されている順序に、前述の二つの書誌に準拠して記述してある。(図3参照)

たとえば、Abbot, George の *Quaestiones sex totidem* という図書を見ようとすれば、図1, 2, 3の順にさがしていくと、それが Reel 163 の一番はじめに収録されていることがわかる。

なお、Pollard and Redgrave や Wing の書誌にある図書の番号が Cross index 又は Partial list に見当たらない時は、その図書がまだマイクロ化されていないということになろう。

注1) Pollard & Redgrave では英米を主に150余、Wing では同じく300以上の所蔵館が表示してある。(図1参照)

注2) Pollard & Redgrave ではAからZまで通し番号、Wing ではAからZまでそれぞれの中での

一連番号になっている。

注3) Pollard & Redgrave では同一都市内の図書館等はアルファベット一文字と小数字、Wing では全く別個の略語が与えられている。

Abbot, George, Abp.—cont.		
34	— An exposition upon the prophet Jonah. 4°. R. Field, sold by R. Garbrand, 1600. Ent. 22 fb. L. O. C.; HN.	5
35	— [Anr. ed.] 4°. R. Field, 1613. L. O. C.	5
36	— <i>Quaestiones sex totidem praelectionibus discussae. 4°. Oxoniae, ex off. J. Barnesii, 1598. L. O. C.; HN.</i>	6
37	— The reasons wh. doctour Hill hath brought for upholding papistry unmasked. pt. 1. 4°. Oxford, J. Barnes, sold by S. Waterson [London], 1604. L. O. C.; HN.	6
38	— A sermon preached at the funerall solemnities of Thomas Earle of Dorset. 4°. M. Bradwood f. W. Aspley, 1608. Ent. 15 jn. L. O. C.; HN.	6
39	— A treatise of the perpetuall visibilitie and suc-	6

図1 Pollard & Redgrave: A Short-Title Catalogue……1475-1640

CROSS INDEX STC NUMBERS AND REEL NUMBERS

STC	Reel	STC	Reel	STC	Reel
02	575	52	163	94	605
03	604	53	864	95	21
04	604	54	605	98	1226
05	484	55	1163	99	194
06	864	56	864	100	163
07		57			236
	817		905	125	
30	864	77	635	126	982
31	817	79	96	127	818
33	649	80	163	129	818
34	275	81	163	131	818
35	775	82	905	131a	1338
36	163	83	905	132	731
37	604	84	21	133	818
38	604	85	21	134	1019
39	604	85a	947	135	818
41	817	86	817	136	864

図2 Early English Books 1475-1640: Selected from Pollard and Redgrave's Short-Title Catalogue. Cross index to Reels 1-1536.

ENGLISH BOOKS 1475-1640

REEL 163		
36	Abbot, George, Abp. <i>Quaestiones sex totidem praelectionibus discussae. 4°. Oxoniae, ex off. J. Barnesii, 1598.</i>	159 A
*10404		*10426 o
52	Abbot, Robert, Bp. <i>A mirrour of popish subtilities. 4°. T. Creede f. T. Woodcocke, 1594. Ent. 4 mr.</i>	164 A
*10405		*10427 ti
80	Abraham, Aben Hassan, the Levite. <i>Haec sunt verba dei. Praecepta in monte Sinai data Judaeis. 4°. Cantabrigiae ex off. J. Legat, 1597.</i>	172 A
*10407		*10430 d

図3 Early English Books 1475-1640: A partial list by STC numbers.

(参考調査掛)

昭和55年度参考図書購入報告

参考図書購入経費（文学部，教育学部，法学部，経済学部の四学部部間共通費，本学共通経費，本省事項指定参考図書費）によって下記の資料を購入いたしました。（※印は継続購入）なお，これらの資料は本館レファレンス・コーナーに備え付けておりますのでご利用ください。

A. 所蔵目録

1. 逐次刊行物所蔵目録 1979年版 上・下巻
日本科学技術情報センター
2. 学術雑誌総合目録 人文・社会科学欧文編
1980年 文部省学術国際局
- ※ 3. 現行医学雑誌所在目録 1980年版
日本医学図書館協会
4. 医学雑誌総合目録 和文編 日本医学図書館協会
5. 宮城県郷土資料総合目録 宮城県図書館
- ※ 6. Bibliografia Nazionale Italiana. Vol. 16, Vol. 21.
- ※ 7. Catalogue Général des Livres Imprimés de la Bibliothèque Nationale. Tome 228-229.
- ※ 8. National Union Catalog. Pre-1956 Imprint. Vol. 53-56, 650-685.

B. 出版目録

1. 日本新聞雑誌便覧 55年版
日本新聞雑誌調査会マスコミ資料センター
- ※ 2. 日本書籍総目録 1980. 書名編・索引編
日本書籍出版協会
3. 選定図書総目録 1980 日本図書館協会
4. 新聞雑誌総カタログ 1981年版
メディア・リサーチ・センター
- ※ 5. 出版年鑑 1980 出版ニュース社
6. 全集総合目録 1981 出版ニュース社
- ※ 7. American Book Publishing Record. 1979.
- ※ 8. Библиография изданий академий наук СССР. Ежегодник. Том 21.
- ※ 9. Books in Print. Titles Vol. 1-2, Authors Vol. 1-2.
10. Books in Print. Supplement, 1979-1980.
11. Books on Demand (Author Guide, Title Guide, Subject Guide, 1980. and Suppl.)
- ※ 12. British Books in Print. 1980. Vol. 1-2.
- ※ 13. Catalogo dei Libri in Commercio. 1979. Titoli, Soggetti, Autori.
- ※ 14. Deutsche Bibliographie: Fünfjahres-Verzeichnis, 1971-1975. Teil I, Bd. 4-5. Teil II, Bd. 2-4.
- ※ 15. Ежегодник книги СССР. 1976, Том 2.
- ※ 16. Ежегодник книги СССР. 1977, Том 1-2.
- ※ 17. Gesamtverzeichnis des Deutschsprachigen Schrifttums, 1911-1965. Bd. 99-126.

- ※ 18. La Librairie Française. Tables Décennales, 1966-1975: Répertoire Cumulatif des Livres de l'Année-Biblio. Auteurs 1-3, Titres 1-3.

- ※ 19. Les Livres Disponibles 1979.

- ※ 20. Subject Guide to Books in Print. 1979-80. Vol. 1-2.

- ※ 21. Verzeichnis Lieferbarer Bücher 80/81.

- ※ 22. Verzeichnis Lieferbarer Bücher. Bd. 1-2 u. Ergänzungsband-Fruhjahr.

C. 索引, 抄録, 書評

1. 現代史資料 別巻索引 みず書房
2. 刑事裁判例総索引 諸法編 最高裁判所事務総局
- ※ 3. 毎日ニュース事典 1980年版 毎日新聞社
4. 「青鞥」総目次・索引 龍溪書舎
- ※ 5. 世尊寺本字鏡漢字索引(4) 島田友香
- ※ 6. Bibliographic Guide to Government Publications U.S. 1979. Vol. 1-2.
7. British Humanities Index 1978.
- ※ 8. Index Bio-Bibliographicus Notorum Hominum. Pars C. Vol. 12-13, Vol. 17-19.
- ※ 9. International Encyclopedia of the Social Science. Vol. 18.
- ※ 10. Social Science Citation Index. 1979 Annual Cumulation.

D. その他の書誌, 書目

1. 安保闘争文献目録 湖北社
2. 中国問題文献辞典 国書刊行会
3. 婦人問題文献目録 図書の部(1) 明治期
国立国会図書館
4. 「風俗画報」日次総覧 龍溪書舎
5. 本邦信託文献総目録(戦後の部) 信託協会
- ※ 6. 近代文学研究双書 51 昭和女子大学近代文化研究所
7. 近代中国関係文献目録 1945-1978
中央公論美術出版
- ※ 8. マルクス主義研究年報 1977年版, 1979年版
合同出版
9. 民俗学文献解題 名著出版
10. 日本民俗学文献総目録 国書刊行会
11. 日本におけるマクトウェイン
概説と文献目録 桐原書店
- ※ 12. 日本史文献年鑑 Vol. 5. (1979) 柏書房

13. 世界文学シリーズ イギリス文学案内 朝日出版社
 // アメリカ //
 // ドイツ //
 // フランス //
 // 日本文学案内 古典編
 // // 近代編
 // ロシア文学案内
- ※14. 書評年報 1979年 人文・社会・自然編, 文学・芸術・児童編
- ※15. 雑誌記事索引 一人文・社会編—累積索引版
 1948-1954 シリーズI: 政治・行政
 シリーズII: 経済
 シリーズIII: 産業
 シリーズIV: 教育・文化
 シリーズV: 哲学・宗教
 シリーズVI: 芸術・芸能・スポーツ
- ※16. Bibliographic Guide to Art and Architecture, 1979. Vol. 1-2.
- ※17. Bibliographic Guide to Business and Economics, 1979. Vol. 1-3.
- ※18. Bibliographic Guide to Conference Publications, 1979. Vol. 1-2.
- ※19. Bibliographic Guide to Law, 1979. Vol. 1-2.
- ※20. Bibliography: Works on Library and Information Science, Vol. 1-2. (図書館情報科学文献誌)(KWIC Index Series for Social Sciences, No. 4, 1-2)
- ※21. Internationale Bibliographie der Zeitschriftenliteratur, Vol. 15 (1979)
 Pars 1: Index Autorum A-K, L-Z.
 Pars 2: Index Autorum A-K, L-Z.
 Pars 2: Index Rerum A-F, G-K, L-R, S-Z.
 Internationale Bibliographie der Zeitschriftenliteratur, Vol. 16 (1980)
 Pars 1: Index Rerum A-F, G-K, L-R, S-Z.
- ※22. International Bibliography of the Social Sciences, Economics, Vol. 27 (1978)
- ※23. International Bibliography of the Social Sciences, Political Science, Vol. 27 (1978)
- ※24. International Bibliography of the Social Sciences, Sociology, Vol. 28 (1978)
25. The New Cambridge Bibliography of English Literature, Vol. 2-5.
- E. 地図・地名・人物・機関名鑑類**
1. 中国歴史地名大辞典 全6巻 凌雲書房
2. 中華人民共和国地質図集 築地書館
- ※3. 現代日本執筆者大事典 4巻, 5巻
 日外アソシエーツ
4. 現行行政機関組織図 55年版 日本人事行政研究所
- ※5. 人事興信録 第31版 上・下 人事興信所
- ※6. 角川日本地名大辞典 5巻, 11巻, 44巻 角川書店
7. 科学技術人名事典 共立出版
8. 漢文学者総覧 汲古書院
9. 国会便覧 55年8月新版 別刷 国会便覧1集, 2集 日本政経新聞出版部
- ※10. 国勢総覧 第56版 国際連合通信社
11. 公共試験研究機関案内 理工学テーマ編 1980年版 日本科学技術情報センター
- ※12. 日本分県地図 56年版 人文社
13. 日本現代詩人名鑑 1980 芸風書院
- ※14. 日本の図書館 1979, 1980 日本図書館協会
- ※15. 日本歴史地名大系 5, 36, 39, 42 平凡社
16. ロシア・ソビエト姓名辞典 ナウカ
17. 世界の研究所要覧 につかん書房
- ※18. 職員録 56年版 大蔵省印刷局
19. 昭和国勢総覧 全2巻 東洋経済新報社
20. 主要国米英仏独中ソ日行政機構ハンドブック
 ジャパンタイムズ出版部
21. 東南アジア要覧 1980年版 時事通信社
22. 筑波研究学園都市名鑑 55-56 ラテイス
23. 全国大学職員録 56年版 国公立大学編, 私立大学編 広潤社
- ※24. 全国学校総覧 56年版 東京教育研究社
- ※25. 全国各種団体名鑑 1980. 上・下
 ミカミマーケティング・インスティテュート
26. The Times Atlas of the World.
27. Biographical Directory of the United States Executive Branch, 1774-1977.
28. Book Publishers Directory, 2nd ed.
- ※29. Contemporary Authors, Vol. 89-92, Vol. 93-96.
- ※30. Dictionnaire de Biographie Française, Tom. 14.
31. The Directory of Directories.
32. Directory of Information Sources in Japan, 1980.
- ※33. Dizionario Biografico Degli Italiani, Vol. 20-22.
34. Directory of Published Proceedings, 14th Annual Cumulative volume.
35. Enciclopedia Dantesca, Appendice.
36. Guide to United Nations Organization, Documentation & Publishing for Students, Researchers, Librarians.
37. International Handbook of Universities, 7th ed.
- ※38. The International Who's Who 1979-80, 43. ed. 1980-81, 44. ed.

39. Irregular Serials & Annuals; an International Directory. 1980-1981. 6th ed.
40. Neue deutsche Biographie. Bd. 12.
41. The Standard Periodical Directory. 1979-1980. 6th ed.
- ※42. Wer ist Wer? Das Deutsche Who's Who. 20 (1979)
- ※43. Who's Who. 1980.
- ※44. Who's Who in America. 1980-1981. Vol. 1-2. 41st ed.
- ※45. Willing's Press Guide. 1980. 106th ed.
46. World Authors, 1950-1970.
- ※47. World of Learning. 1979-80. Vol. 1-2. 30th ed.

F. 百科事典

1. Encyclopedia Americana. Vol. 1-30 & G.I. D. Vol. 1-2.
- ※ 2. Enciclopedia Italiana. Appendice 4, Vol. 1: A-Ga, Vol. 2. Ge-Pi.
- ※ 3. The Encyclopaedia of Islam. Index 1-3.
4. Enciclopedia Universal Ilustrada Europeo-Americana. Suplemento, 1971-1972.
- ※ 5. Encyclopedia of Library and Information Science. Vol. 29.
- ※ 6. Большая Советская Энциклопедия. Ежегодник. 1980.
- ※ 7. Great Soviet Encyclopedia. Vol. 22-24.
- ※ 8. Encyclopedia of Library and Information Science. Vol. 28.

G. 特定主題事典

1. 仏教文学事典 東京堂出版
2. 鳥類原色大図説 全3巻 講談社
3. 中国現代薬草事典 工業調査会
4. データの図典 ラテイス
5. 独羅英仏一和標準医語辞典 南山堂
6. ドーランド図説医学大辞典 広川書店
7. 江戸音典事典(江戸風俗図誌 7) 展覧社
8. 現代マルクス＝レーニン主義事典 上 社会思想社
- ※ 9. 原色浮世絵大百科事典 第5巻, 第7巻 大修館書店
10. いけばな総合大事典 主婦の友社
11. 寺院ハンドブック 宗教法人編(上, 下) 三成書房
- 〃 墓地編
- 〃 税務事業会計編
12. 時事英語辞典 研究社出版
13. 神社辞典 東京堂出版

14. カナ引き工業用語辞典 ジャパンマシニスト社
15. 環境科学大事典 講談社
- ※16. 経済学大辞典 2 東洋経済新報社
17. 国語学大辞典 東京堂出版
- ※18. 国史大辞典 2 吉川弘文館
19. 古文書用字用語大辞典 柏書房
20. 名数数詞辞典 東京堂出版
21. 日本仏教史辞典 東京堂出版
22. 日本水生植物図鑑 北隆館
- ※23. 類聚伝記大日本史 1～2巻, 7～8巻 雄山閣出版
24. 世界蝶の百科 秀潤社
25. 新編単位辞典 ラテイス
26. 新編東洋史辞典 東京創元社
27. 数学, 英和・和英辞典 共立出版
28. Dictionnaire de Psychologie. Vol. 1-2.
29. Handbooks and Tables in Science and Technology.
30. Lexikon der Alten Welt.
31. Theologisches Wörterbuch zum Neuen Testament. Bd. 10/2.
32. Wörterbuch der deutschen Pflanzennamen. Bd. 1-5.

H. 語学辞典

1. 中世スペイン語辞典 風間書房
2. 独和言林 白水社
3. 英語基本動詞辞典 研究社出版
4. 現代和独辞典 R. シンチンゲル 三修社
5. ハンガリー語小辞典 泰流社
6. 難訓辞典 日本図書センター
7. 新英和大辞典 5版 研究社出版
8. 新字鑑 三訂増補 国書刊行会
9. ウズベク語辞典 泰流社

I. 年鑑

- ※ 1. 朝日年鑑 1980年版
- ※ 2. ブリタニカ国際年鑑 1980年版
- ※ 3. 中国百科年鑑 1980
- ※ 4. 時事年鑑 昭和54～56年
- ※ 5. 河北年鑑 昭和56年
- ※ 6. 韓国年鑑 1980
- ※ 7. 毎日年鑑 1979年～1980年版
- ※ 8. 日本都市年鑑 1980
- ※ 9. 世界年鑑 1980年版
- ※10. 社会保障年鑑 1980
- ※11. 新中国年鑑 1980

- ※12. 読売年鑑 1979～1980
- ※13. Americana Annual. 1980.
- ※14. The American Ephemeris and Nautical Almanac. 1980.
- ※15. The Europa Year Book. 1980. Vol. 1.
- ※16. McGraw-Hill Yearbook of Science & Technology. 1975-1979.
- ※17. Whitaker's Almanack. 1980-1981.
- ※18. World Almanac and Book of Facts. 1980.

J. その他

- 1. 中国近代政治経済年表 国書刊行会
- 2. 英文ビジネスレター入門 学陽書房出版
- 3. 英文を書くための辞書 北星堂書店
- ※4. 現代用語の基礎知識 1981 自由国民社
- 5. '80 軍事力バランスハンドブック (世界週報臨時増刊号) 時事通信社
- 6. ホームシリーズ・ホームコンサルタント 11巻 スピーチと会話の百科 小学館
- 7. いちは百態 日貿出版社
- 8. JICST 科学技術用語シソーラス 1978年 日本科学技術情報センター
- 9. JICST 理工学統一分類表 1975. 日本科学技術情報センター
- ※10. JIS 規格 追録 日本規格協会
- 11. JOIS 専門研修会 JICST ファイル, CAS ファイル 日本科学技術情報センター
- 12. 樹木庭園樹・公園樹 高松 ワールドグリーン編集部
- 13. 化粧史文献資料年表 ポーラ文化研究所
- ※14. 国公立大学ガイドブック 55年～56年度版 第一法規
- 15. 国立国会図書館件名標目表 第3版 1980 国立国会図書館

- ※16. 国の試験研究業務計画 55年度版 日本科学技術情報センター
- 17. 文部省科学研究費補助金採択課題一覧 昭和55年度 ぎょうせい
- ※18. 年表 日本歴史2 筑摩書房
- 19. 日本の重要な昆虫類, 北海道, 東北, 北関東, 南関東, 北陸, 甲信越, 東海, 近畿, 中国, 四国, 北九州・沖縄 大蔵省印刷局
- ※20. 理科年表 56年 丸善
- ※21. 岩波六法全書 56年版
- ※22. 有斐閣六法全書 56年版 1-2.
- 23. 留学事典 1980. (別冊 The English Journal) アルタ
- 24. 世界の新聞雑誌ガイド 1980年版 日本貿易振興会
- 25. 書誌作成マニュアル 日外アソシエーツ
- 26. 手紙の百科 小学館
- 27. Computer-Readable Data Bases: A Directory & Data Sourcebook.
- 28. Guide to Dialog-Databases. Vol. 3. Files 51-75. (日本語版)
- 29. ISO Catalogue. 1980.
- 30. Journals in Translation.
- 31. Medical Subject Headings Annotated Alphabetic List, 1980.
- 32. Medical Subject Headings Tree Structures, 1980.
- 33. Permuted Medical Subject Headings, 1980.
- 34. Sections in Chemical Abstracts. 1975 ed.
- ※35. Study Abroad. 23.
- 36. Walford's Guide to Reference Material. Vol. 1. 4th ed.

東北大学記念資料室だより

○ 10月24日(土)第二高等学校創立95周年の記念式典が、仙台東急ホテルでおこなわれた。本室から同校校旗が出で会場の中心に置かれた。同日、故阿部次郎教授を偲ぶ会が、仙台プラザホテルで開かれた。23回忌辰に際してである。なおこの前日から寄せられた数百通の書簡を通じて同教授を

思う、資料展が、仙台市博物館で開かれている。

○ 例年の通り、停年退官の教官に本室が作製寄贈する記念写真や著作目録は、さきほど完成しその作業を完了した。写真は全員(18名)で、著作目録は古瀬(経), 菊池(理), 栗冠(医), 亀谷(薬), 横堀(工), 清野(工), 後藤(工), 柴崎(農), 佐藤(養), 神田(農研), 南部(選研), 谷内(選研), 神吉(科研), 稲垣(科研)の14教授であった。

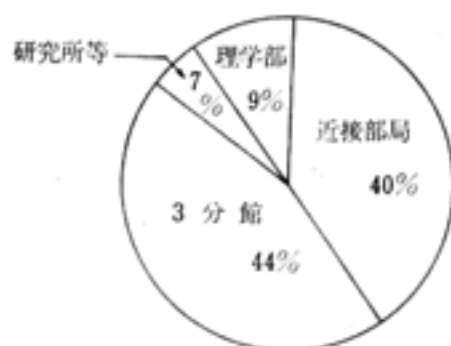
昭和55年度・中央図書館利用状況の概要

中央図書館の利用状況について、昭和55年度利用統計をとりまとめた。これらのうち主要なものを図表にして次に掲載する。

注：表中の〔 〕内は昭和54年度のデータ。

1 利用対象者数

- 全学総数 18,131人〔18,135人〕
- 分館（医・工・農学）利用対象者を除く数 10,191人〔10,131人〕
- 近接部局利用対象者数 7,330人〔7,240人〕



注1：近接部局とは、川内地区の文・教育・法・経済の4学部及び教養部をさす。

2 入館者数（推定）

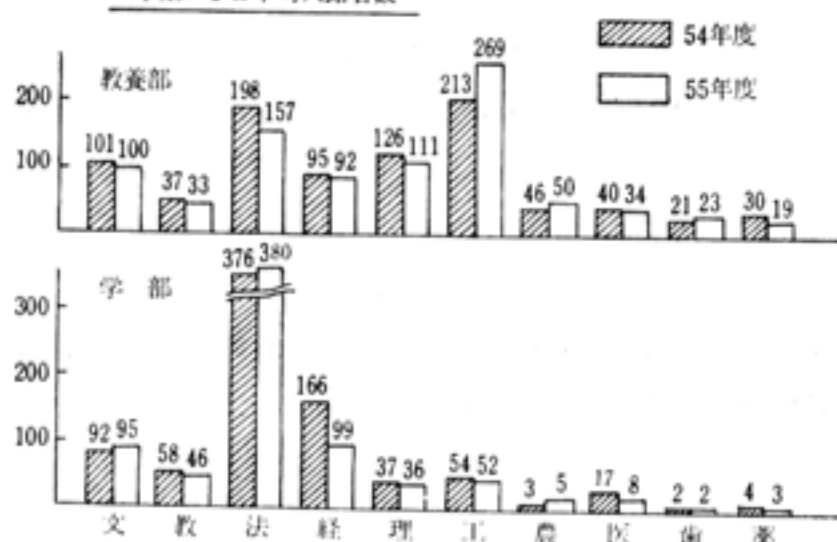
- 年間総数 485,025人〔525,027人〕
- 1日平均数 1,695人〔1,810人〕
- 学生の入館数 457,855人〔497,477人〕

学生・部局別入館者数（入館者実態調査より推計）

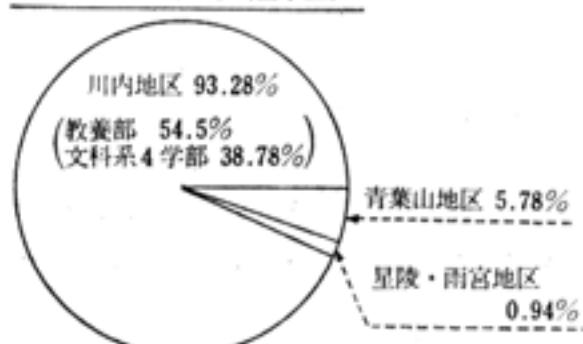
		文	教	法	経	理	工	農	医	歯	薬	計	
												1日平均(人)	在籍1人当(回/年)
教養部	1日平均(人)	100	33	157	92	111	269	50	34	23	19	888人 [907人]	54回 [58回]
	在籍1人当(回/年)	70	66	95	56	52	46	44	39	39	32		
学部	1日平均(人)	95	46	380	99	36	52	5	8	2	3	726人 [809人]	42回 [47回]
	在籍1人当(回/年)	78	83	187	59	17	10	5	4	3	6		
計	1日平均(人)	195	79	537	191	147	321	55	42	25	22	1,614人 [1,716人]	48回 [52回]
	在籍1人当(回/年)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

※ 年間開館日数286日〔290日〕

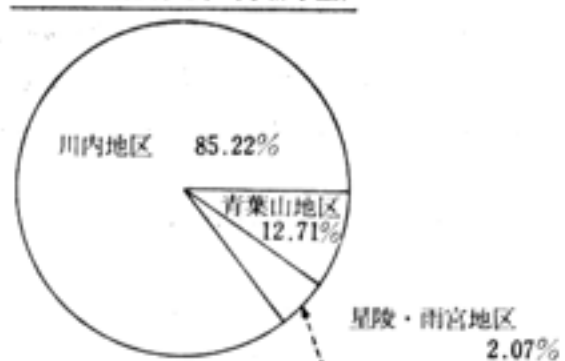
学生・1日平均入館者数



学生・地区別比率（全学生）

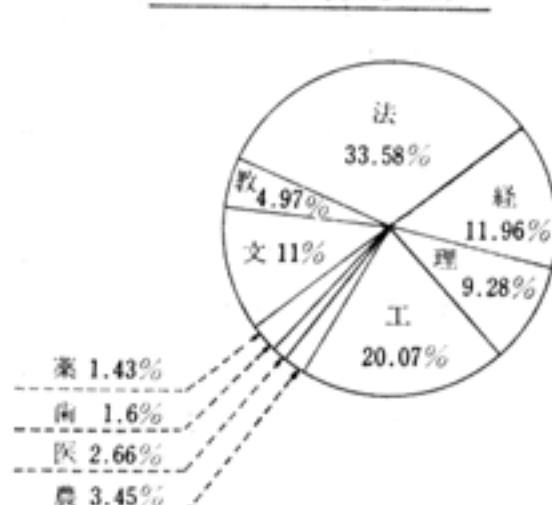


学生・地区別比率（学部学生）



学生・部局別比率

（教養部を含む）



3 閲覧・貸出冊数（全利用者）

イ）開架閲覧室資料

単位：百冊

主題	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	雑誌	計
閲覧	37	52	59	270	359	36	1	28	150	105	18	1115
貸出	7	34	21	86	140	17	0.2	9	7	50	7	378

ロ）書庫内資料

単位：百冊

主題	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	雑誌	計
閲覧	4	4	8	13	1	0.8	0.07	1	0.8	7	46	86
貸出	19	32	29	94	8	0.7	0.6	5	6	24	41	259

4 入庫者数

55年度	院生 5,092人 [5,283人]	教職員 2,482人 [1,996人]	計 7,574人 [7,279人]
------	--------------------------	---------------------------	----------------------

5 昭和55年度 文献複写実績

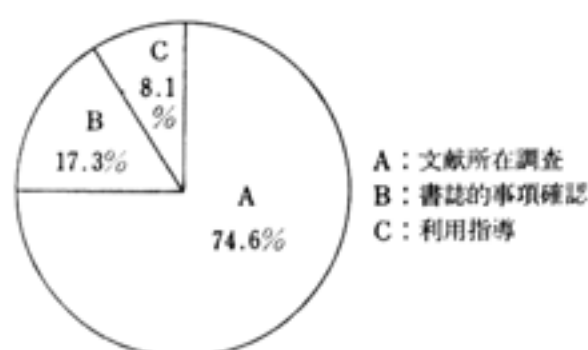
	件数	枚数	金額
学内	1,715件 [1,869]	23,264枚 [28,197]	960,095円 [1,203,540]
学外	1,491 [1,334]	48,006 [54,765]	2,358,242 [2,547,647]
計	3,206 [3,203]	71,270 [82,962]	3,318,337 [3,751,187]

6 レファレンス応答件数

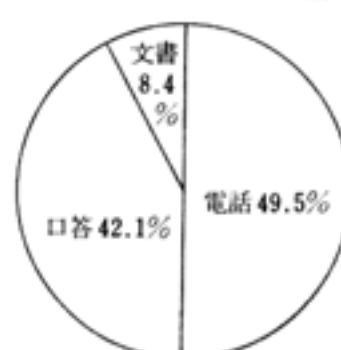
5,816 [6,009]

	教官	院生・学生	図書室	計
人文社会	335 [245]	1,689 [1,701]	27 [24]	2,051 [1,970]
自然	1,054 [777]	1,544 [1,642]	186 [375]	2,784 [2,794]
計	1,389 [1,022]	3,233 [3,343]	213 [399]	4,835 [4,764]

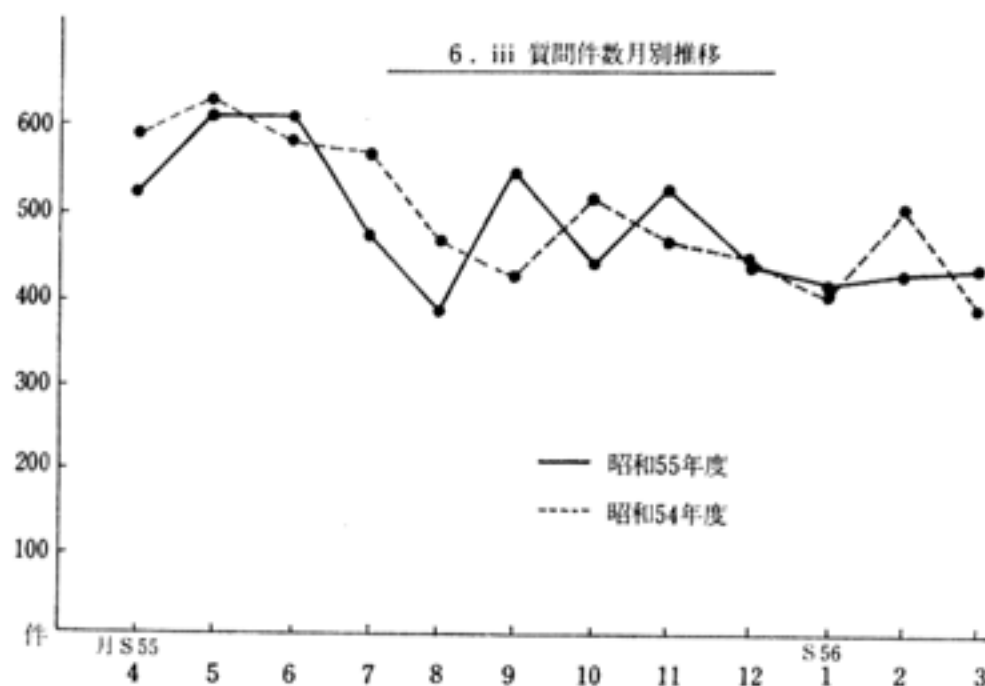
6. i 質問内容別比率



6. ii 質問手段別比率



6. iii 質問件数月別推移



附属図書館本館における研究個室 及び大視聴覚室の利用内規の制定 について

研究個室及び大視聴覚室の利用については、**附属図書館本館利用規則**（昭和49年3月6日制定）の第9条第2項及び第28条で、『その利用については別に定める』と規定されているが、今日まで制定されず、慣例に従って処理されていた。しかし、これでは色々と運用面で、支障をきたすので、本年5月に館員によるこれらの利用内規に関する検討小委員会が発足して検討を重ねていたが、このたび、下記の通り、成案を得たので、附属図書館長に答申し、図書館商議会の議を経て、ここに制定された。今後、研究個室及び大視聴覚室の利用については、この内規に従って運用される。

東北大学附属図書館本館研究個室利用内規

制定 昭和56年10月1日

（趣旨）

第1条 この内規は、東北大学附属図書館本館利用規則（昭和49年3月6日制定）第9条第2項の規定に基づき、東北大学附属図書館本館研究個室（以下「研究個室」という。）の利用について、必要な事項を定めるものとする。

（利用の範囲）

第2条 次に掲げる個人は、研究調査のため東北大学附属図書館（以下「図書館」という。）所蔵の資料を利用するときに限り、東北大学附属図書館長（以下「館長」という。）の許可を得て、研究個室を利用することができるものとする。

(1) 本学名誉教授

(2) 本学教官及び館長がこれに準ずると認めた者

(3) 館長が特に許可した学外研究者

（利用期間）

第3条 研究個室を利用できる期間は2週間以内とし、他に予約者が無い限り1週間を単位として更新することができるものとする。

（利用時間）

第4条 研究個室の利用は開館日に限り、利用時間は次のとおりとする。

平日 午前9時から午後5時まで

土曜日 午前9時から正午まで

（利用の申請）

第5条 研究個室を利用しようとする者は、別紙様式1による研究個室利用願（以下「利用願」という。）を館長に提出し、その許可を得なければならない。

（利用の許可）

第6条 館長は、前条の申請があったときは、その利用目的等が適当と認められるものについて

は許可するものとする。

2 前項により許可したときは、利用しようとする者に対し、必要な条件を付して別紙様式2による研究個室利用許可書（以下「許可書」という。）を交付するものとする。

（利用の手順）

第7条 研究個室の利用を許可された者（以下「利用者」という。）は、担当職員に許可書と入館券又は身分証明書等を提示し、研究個室の鍵を受け取り、利用上必要な指示に従うものとする。

2 利用者は、その日の利用が終わったときは、室内の安全を確認した上で施錠し、担当職員にその鍵を返納するものとする。

（管理上の入室）

第8条 館長は、庁舎管理上の必要が生じたときは、研究個室が利用中であっても、随時担当職員を入室させることができるものとする。

（利用に伴う責任）

第9条 利用者は、利用者の責に帰すべき事由により設備等を損傷した場合は、その責任を負うものとする。

（利用許可の取消し）

第10条 次の各号の一に該当したときは、利用許可を取り消すことがある。

(1) 利用願に虚偽の記載をしたとき

(2) 利用目的から逸脱したとき

(3) 利用者が研究個室を他人に利用させたとき又は複数の者で利用したとき

(4) その他、この内規に違反したとき

（その他）

第11条 この内規に関する事務は、図書館閲覧課閲覧掛が行う。

附 則

この内規は、昭和56年10月1日から施行する。

東北大学附属図書館本館大視聴覚室利用内規

制定 昭和56年10月1日

（趣旨）

第1条 この内規は、東北大学附属図書館本館利用規則（昭和49年3月6日制定）第28条の規定に基づき、東北大学附属図書館（以下「図書館」という。）の行事以外の東北大学附属図書館大視聴覚室（以下「大視聴覚室」という。）の利用について、必要な事項を定めるものとする。

（利用の範囲）

第2条 本学の専任講師以上の教官は、その教育・研究のため視聴覚資料を利用して視聴覚機器及び設備を必要とするときに限り、東北大学附属図書館長（以下「館長」という。）の許可を得て、大視聴覚室を利用することができるものとする。

(利用時間)

第3条 大視聴覚室の利用は開館日に限り、利用時間は次のとおりとする。

平日 午前9時から午後4時30分まで
土曜日 午前9時から正午まで

(利用の申請)

第4条 大視聴覚室を利用しようとする者は、別紙様式1による大視聴覚室利用願（以下「利用願」という。）を館長に提出し、その許可を得なければならない。

2 館長が必要とした場合は、他に参考資料を提出しなければならない。

(利用の許可)

第5条 館長は、前条の申請があったときは、その利用目的等を審査し、適当と認めるものについては許可するものとする。

2 前項により許可したときは、利用しようとする者に対し、必要な条件を付して別紙様式2による大視聴覚室利用許可書（以下「許可書」という。）を交付するものとする。

(利用の手順)

第6条 大視聴覚室の利用を許可された者（以下「利用責任者」という。）は、利用に先立ち担当職員に許可書を提示し、利用上必要な指示に従うものとする。

(管理上の入室)

第7条 館長は、庁舎管理上の必要が生じたときは、大視聴覚室が利用中であっても、随時担当職員を入室させることができるものとする。

(利用に伴う責任)

第8条 利用責任者は、利用者の責に帰すべき事由により、視聴覚資料及び機器・設備を損傷し又は滅失した場合は、その責任を負うものとする。

(利用許可書の取消し)

第9条 次の各号の一に該当したときは、利用許可を取り消すことがある。

- (1) 図書館において大視聴覚室を使用する必要が生じたとき
- (2) 利用願に虚偽の記載をしたとき
- (3) 利用目的から逸脱したとき
- (4) その他、この内規に違反したとき

2 前項の取り消しのため、利用者に損害を及ぼすことがあっても、館長はその責任を負わない。

(その他)

第10条 この内規に関する事務は、図書館総務課会計掛が行う。

附 則

この内規は、昭和56年10月1日から施行する。

国立大学図書館間の『相互利用』が実施される。

かねてから、検討されていた『国立大学図書館間相互利用』が、本年6月、沖縄で開かれた第28回国立大学図書館協議会で正式に承認された。実

施要項及び細則は、下記の通りである。これによると、国立大学に所属する教職員、大学院学生及びこれに準ずる者は、当該大学の附属図書館長が発行する『共通閲覧証』を持参すれば、全国どこでも国立大学の附属図書館であれば、館内閲覧はできることになった。しかしながら、現実面で、附属図書館の本館は別として、分館・部局図書館（室）の利用となると、各大学の事情によって異なり、また種々な制約もあるので、出掛ける際は本館備付の『利用マニュアル一覧』を参照せられたい。実施期日については、なお、附属図書館内の調整、利用マニュアルの作成及び共通閲覧証の印刷発行等の準備期間が必要で、まだ流動的ではあるが、来年1月15日頃から実施される見込である。

国立大学図書館間相互利用実施要項

(昭和56.6.23第28回国立大学図書館協議会総会決定)

1. 目 的

この要項は、国立大学に所属する研究者の研究・教育活動に資するため国立大学図書館に所蔵されている図書館資料の円滑な相互利用を促進することを目的とする。

2. 対 象

この要項は、国立大学図書館協議会に加盟している大学図書館間における研究者による相互利用に対して適用する。

3. 定 義

この要項における用語の定義は、次のとおりとする。

(1) 国立大学図書館：各大学において附属図書館を構成する中央図書館、分館、部局図書館・室等をいう。

(2) 研究者：国立大学に所属する教職員、大学院学生及びこれに準ずる者をいう。これに準ずる者は、その者が所属する大学の附属図書館長が認める者をいう。

(3) 相互利用：研究者が他国立大学図書館に向いて、その所蔵資料を直接利用することをいう。

4. 相互利用の範囲

相互利用の範囲は、館内における閲覧を原則とし、その方法は当該大学図書館の定めるところによるものとする。

5. 相互利用の手続

相互利用を希望する研究者は、あらかじめ所属大学の図書館長に申請し、「国立大学図書館間共通閲覧証」の交付を受け、利用時にこれを利用受入館に提示するものとする。「共通閲覧証」の様式は別に定める。

6. 相互利用の制限

利用受入館は、当該大学に所属する利用者の利用が著しく妨げられると判断した場合には、相互利用を制限することができる。

国立大学図書館間相互利用実施細則

1. この細則は、国立大学図書館間相互利用実施要項に掲げる目的を達成するために必要な事項を定めたものである。
2. 相互利用方式
要項にいう「国立大学図書館間共通閲覧証」による共通閲覧証方式とするが、従来より実施中の他の方式を排除するものではない。
3. 国立大学図書館間共通閲覧証
ア. 様式は別紙のとおりとする。
イ. 有効期間は当該年度内とする。
ウ. 本証利用上の注意事項の周知に努める。
4. 利用受入館
要項3の(1)にいう国立大学図書館であるが、当該大学の事情により、1大学で中央図書館のみが利用受入館となることがある。
5. 相互利用マニュアル
各館の利用上の留意事項を盛り込んだ相互利用マニュアルを全館が所持するものとする。

会 議 等

- 漢籍整理長期研修
と き：昭和56年9月28日～昭和57年1月14日
ところ：東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター他
受講者：和漢書目録掛 星 政則
- 第55次国立七大学附属図書館協議会及び第14回国立七大学附属図書館部課長会議
と き：昭和56年9月29日～30日
ところ：長陵会館
出席者：服藤館長、長尾事務部長、竹原総務課長、玉木整理課長、柿沼閲覧課長、原田調査研究室長、木本医学分館事務長
- 第36回東北地区大学図書館協議会総会
と き：昭和56年10月22日～23日
ところ：山形大学附属図書館
出席者：服藤館長、長尾事務部長、村岡企画・渉外掛長、桜田医学分館整理掛長、佐藤工学分館図書掛長、小野農学分館図書掛長
- 国立大学図書館協議会理事会等
と き：昭和56年10月29日～30日
ところ：京都大学附属図書館
出席者：服藤館長、長尾事務部長
- 昭和56年度大学図書館職員講習会
と き：昭和56年11月10日～13日
ところ：東京大学附属図書館
受講者：書庫掛 千葉龍郎、理学部数学科図書室 横山悦子
- 第2回西洋社会科学古典資料講習会
と き：昭和56年11月18日～20日

ところ：一橋大学社会科学古典資料センター
受講者：洋書目録掛 及川恵美子
○第13回国際連合寄託図書館会議
と き：昭和56年11月19日～20日
ところ：国立国会図書館
出席者：柿沼閲覧課長

休館等のお知らせ

年末年始及び年度末の休館・休室及び延長開館の予定は次のとおりです。

○休館・休室

1. 年末年始：昭和56年12月26日（土）から昭和57年1月4日（月）まで
2. 12月下旬並びに3月下旬はそれぞれ数日間、配架整備のため開架閲覧室を閉室する予定です。日程は確定次第お知らせしますので館内掲示にご注意下さい。

○延長開館（平日20時まで、土曜日17時まで—開架閲覧室—）

1. 昭和56年12月22日（火）まで
2. 昭和57年1月11日（月）～2月27日（土）まで
なお、教養部の定期試験時は自由閲覧室も開室予定ですが、期間については館内掲示でお知らせします。

指定図書について

昭和57年度の指定図書実施計画をたてるため、本年9月より各学部・教養部の講義担当教官にたいし、その指定方を依頼していましたが、この程リストの提出も終り、現在それに基づき作業が進められています。これらの指定図書は受入後直ちに本館・分館の閲覧室及び関係部局の各図書室に配架され、利用に供されることになります。

指定図書は、講義担当教官が講義に密着した図書として特に指定した必読書です。学生諸君の活用を願って止みません。

本館書庫における雑誌配架の変更に ついて

雑誌の累積増加と単刊書とは異なる利用形態にかんがみて、整理・配架方法を検討していましたが、今年度「書庫内資料移動整備3ヶ年計画」の最終年の事業として、従来の主題別分類目録を廃止し、書庫においては誌名のABC順に配架することになりました。作業は今年度末までかかる予定です。進行状況や案内は掲示いたしますが、不明な点は係員におたずね下さい。